

第18回（2025年度 第1回）東京医科大学病院 監査委員会議事要旨

- 1 日時：2025年7月2日（水） 18時30～20時00分
- 2 場所：東京医科大学病院 8階 会議室1・2
- 3 出席者：【委員】落合 委員長、安原 委員、桑原 委員
【病院側】山本 病院長、大野 医療安全管理責任者
浦松 医療安全管理室室長、高橋 医療安全管理室室員、平山 医療安全管理者
竹内 医薬品安全管理責任者、森本 薬剤部主査
本間 医療機器安全管理責任者、山田 臨床工学部技士長
齋藤 医療放射線安全管理者、内田 放射線技師長、渡邊 感染制御部部长
内野々 患者サポートセンター課長
伊藤 臨床研究支援センターセンター長
須田 総務課課長
- 4 議題：(1) 山本 病院長の挨拶
(2) 落合 委員長の挨拶
(3) 報告事項および監査について
2025年度上半期報告事項
① 医療安全管理報告
② 医薬品安全管理報告
③ 医療機器安全管理報告
④ 医療放射線安全管理報告
⑤ 感染対策について
⑥ 患者相談窓口について
⑦ 高難度新規医療技術導入制度について
- 5 監査項目：
 - ① 大野 医療安全管理責任者より、医療安全管理体制として2025年度上半期のインシデント報告、院内病因・死因（M&M）検討会報告、医療機能評価機構医療事故情報収集等事業への事例報告、院内医療安全研修会実施状況についての報告
 - ② 竹内 医薬品安全管理責任者より、薬品の安全使用のための方策の実施、研修教育の実施について
 - ③ 本間 医療機器安全管理責任者、山田 医療機器安全管理実務者より医療機器安全管理責任者の責務に関する説明、各種研修実績に関する報告、医療機器の保守点検、医療機器の不具合・故障の現状と対応、医療機器添付文書の管理、安全性情報の収集と周知、組織内における周知体制（職場安全管理者会議）状況についての報告

- ④ 齋藤 医療放射線安全管理者より、放射線科の概要、医療被ばくの告知や管理、今後の取り組み（被ばく線量低減化）について報告
- ⑤ 渡邊 感染制御部部長より新型コロナウイルス感染対策、院内感染対策の現状、耐性菌・アウトブレイク事例、AMR 抗菌薬適正使用の推進についての報告
- ⑥ 内野々 患者サポートセンター課長より、組織改編、患者相談窓口対応の実績、現場対応の事例について報告
- ⑦ 伊藤 臨床研究支援センター長より、高難度新規医療技術の位置づけと定義、提供体制、未承認新規医薬品等について、実施件数、終了案件についての報告

6 監査結果：①（確認）事故調査制度は10年前に始まっており、今後とも事故調査には積極的に取り組んでいただきたい。

（回答）医療事故調査制度に基づく医療事故調査委員会は山本委員長就任後、年1、2回開催している。（医療安全管理室）

（指摘）1年のレポートの内訳について、職種別職員数と実際の報告数の比較、検討。非常勤医師に対する院内ルールの周知の工夫。特に同職種間ではなく、多職種で共有方法の検討。（医療安全管理室）

（回答）非常勤医師に対する院内周知は、院内医療安全研修会を実施。勤務医の勤務前研修は医療安全研修、医療研修を実施。多職種間における共有方法は、月1回職場安全会議を実施。（医療安全管理室）

（確認）各部署でリスクマネージャーをご選任いただき、リスクマネージャー会議にご参加いただいているかと存じますが、リスクマネージャーの皆さまは、会議以外に何かほかの業務やご担当されていることはありますでしょうか。

（回答）当院では職場安全管理者が、他院で言うところのリスクマネージャーにあたる。職場安全管理者会議とは別に、医療・医薬品・医療機器安全管理等に関するインシデント報告を分析する医療安全推進委員会に、職場安全管理者の出席もあり、事例の検討に参加している。

（確認）起こりうる合併症の説明。具体的な起こりうる障害、改善可能性の程度の事前説明。

（回答）委員の先生から、異変ができるだけわかりやすい言葉で説明するようにとコメントいただいておりますので周知していきたい。

②（確認）医薬品情報の添文ナビ等のシステムは有効な管理体制だと感じるが、職員の意見も取り入れ広く活用してもらいたいことを意識してもらいたい。

（回答）承知しました。

③（確認）医療機器の一元管理の重要性を鑑み引き続き取り組んでいただきたい。

（回答）資材課が主に医療機器のデータ登録、確認、メンテナンスを行っている。また、臨床工学が現物の確認を行っている。（医療機器安全管理責任者）

（指摘）医療機器の一元管理の重要性を鑑み、引き続き取り組んでいただきたい。（医療機器安全管理）

④（確認）IAEAがありますが、特別な言葉が出てきたときに、それを拾い上げるシステムはありますか。

（回答）相手に確実に見てもらえるよう、注目マークなどで工夫はしているが、それでも見落としが出るため、電話連絡も併用している

7 委員長より総評：

東京医科大学病院における診療状況やその背景、また関連する各部署の皆さまのご尽力により、医療安全がしっかりと守られていることを改めて実感いたしました。近年は働き方改革の推進に伴い、タスクシフトが進められてきていると認識しております。貴院におかれましても、各課において事務職員の皆さまや有資格者の方々が、医療の補助業務を適切に担われる体制が整いつつあると感じております。一方で、そのようなタスクシフトを円滑に進めるためには、医療安全の観点から、業務遂行の過程で事故を起こさない仕組みづくりが極めて重要であると考えております。そのため、新たに医療補助業務に携わる方々に対する研修や教育体制についても、今後さらにご検討いただければと思います。

8 配布資料：

- ① 2025 年度上半期 医療安全管理報告
- ② 2025 年度上半期 医薬品安全管理報告
- ③ 2025 年度上半期 医療機器安全管理報告
- ④ 2025 年度上半期 医療放射線安全管理報告
- ⑤ 2025 年度上半期 感染対策について
- ⑥ 2025 年度上半期 患者相談窓口について
- ⑦ 2025 年度上半期 高難度新規医療技術導入制度について

記録者：総務課